

JAITI 36

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「財団法人日本農業研修協働力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイティ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

事務所 財団法人 日本農業研修協働力団
〒385-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイティ

ジャイティネパールでは、バシファント学校の地元移管への法的手続きを終了しました。これは、二〇一一年度の地元への完全移管にむけた大きな一歩となり、当初目標「ネパールにおける事業は、ネパール人の手で」の実現に向けて前進することとなりました。常務理事を九月、十二月に現地へ派遣し、現状を確認いたしました。

◆バシファント学校
昨年七月十三日、教育省ホノラビー大臣の出席の元、合併調印式を行い、校名も「レカリ・バシファント学校」に改名し、公立校として出発することになりました。ネパールでは、私立校が公立校へ移管される初めてのケースです。これはグルン氏の多大なる功績によるものです。(二頁)

方向を模索しています。現在、ヌワコット郡内で最高の評価をいただいております。新しい取り組みとしてカトマンズ市内の小学校との交流などを積極的にこなっています。

◆スタッフの給与引き上げ
ネパールの政権が代わり労働者の賃金の見直しの勧告がおこなわれました。それに伴い、昨年十月に先生、スタッフの給与の引き上げを実施しました。

◆農業支援
土屋農業指導員を十月にバシファント地区(ナムタール村)、カカニ地区に派遣いたしました。六月に派遣したムスタン郡については、地元より今後も継続してほしいとの要望が寄せられています。

◆理事会
昨年七月二十六日理事会において武石島屋の土地の一部を根岸厚次さん、石山則子さんに売却することを決定し、すすめていきます。十二月二十一日理事会において、新任の森田繁良氏、小林一郎氏を含む別掲八名の評議員を選任いたしました。(四頁)

◆スタディツアー
二〇〇六年から中止しておりましたジャイティのスタディ



▲遊戯の時間(カカニブライター学校)
Play time. Kakani Brighter School is regarded as a high level's Primary School in Nuwakot District



▲2008年7月 レカリ・バシファント学校の看板が新設されました。
In July 2008, Basiphant School re-named as "Lekali Basiphant School" after unification with Lekali Primary School. Most of the credit, to render efforts in this unification process, goes to Mr. Bhim Lai Gurung of JAITI Nepal.

◆SMCC(学校運営委員会)ではインド大使館へ働きかけスクールバスが寄贈されました。現在通学時間の短縮に役に立っています。

◆またSMCCから、ランドセル、肩掛けカバン、文房具等の寄贈を今後も継続していただきたいと思います。望が寄せられています。

◆力カニ、ブライター学校
当初より、授業料により運営を行い、自立させる計画を進めて参りましたが、今後は運営主体を地元のSMCCに移す

◆ネパール事情
◆政情
昨年七月、王政廃止より三ヶ月、舞臺の末、制憲議会において初代大統領にヤードブ氏を選出しました。八月第一党となったマオイスト党首プラチャンドー氏を首班とした、連立内閣を組織されました。

◆その後、議会内で憲法制定のための委員会が発足しましたが、まだ何一つ決まら

てないのが現状のようです。未だ問題は多く抱えています。平和の国の再生に大きく向かっていることも事実です。昨秋、海外からの観光客は、対前年比七%増となりました。

◆生活
世界的な原油高で値上がりした燃料代により、輸送費のコストは、庶民生活を直撃しています。首都カトマンズでは、生活物資をすべて他地域、特

にインドからの輸入に頼っており、食料品以外のものは、五十%以上の値上げになっているようです。

◆服装などは、以前に比べ伝統的なサリーが少なくなり、ジーパン等、行動しやすい服装が増えています。しかしながら、失業率は四十%以上の状態が続いています。また、若者の海外への出稼ぎ者は、昨年十二月には、一日あたり五百人以上いると聞いております。

レカリ・バシファント学校の誕生

The completion of School Handover Process



▲レカリ・バシファント学校の統合調印式に出席のホノラビ－教育大臣

Presence of Honorable Minister of The Ministry of Education in Lekali Basiphant School Unification Signing Ceremony. This is JAITF's success result of completion of handover process after numerous negotiations, meetings and conferences with local community, D.E.O. Hetauda, Ministry of Education.

生までのクラスを支援して
います。このような移管プ
ロセスは昨年の六月まで続
けてきましたが、公的なも
のではありませんでした。
バシファント学校の財産
を、公立学校であるレカリ
小学校に引き渡した後、昨

年七月七日にネパール政府
がバシファント学校の名前
をレカリ・バシファント学
校にすることを決めました。
このようにバシファント
学校は私立学校から公立学
校に変わったため、今後は
ネパール政府の支援を受け
ることができるようになり
ました。政府はすぐに小学
校教師二名の配置を決定し
ました。これからはネパー
ル政府が毎年サポート(教
員の配置)をしていくよう
になります。これで現地の
組合の経済的な負担は少し
ずつ軽くなって行くことは
間違いありません。

バシファ
ント学校の
クラス移管
プロセスは
昨年(二〇
〇八)で六年
目になりま
した。したが
って現在、一
生から六年
生までのク
ラスがSM
CCによって
運営されて
います。ジャ
イチは七年
生から十年

ても難しいものでした。
しかし、ようやく成功し
ました。ネパール政府の制
度では前例のないこのよう
な決定は初めてでした。バ
シファント学校移管プロセ
スが成功したことはジャイチ
ネパールにとってとても
意義のある成功でした。
このプロセスと手続きに
二十回以上の会議、保護者
らとの協議、ヘタウダ教育
事務所へ訪問、交渉をいた
しました。このような長い
手続きの中、ジャイチネパー
ルはいろいろな問題があり
ましたが、もうその話を繰
り返す必要はありません。
ネパール政府、教育大臣、
政治家たち、現地の組合長
たちのご協力に心より感謝
しています。
(ビム・ラル・グルン)

レカリ小学校の紹介
地元の篤志家アツカル、
バハドール・K・C氏が三七
五坪の土地を寄付し、地元
の人々がそこに六部屋の簡
単な建物の学校を作りました。
一九八二年に開校し五
年後から公立学校となりま
した。
かつては八年生まで受け
入れたことがありましたが、
二〇〇八年は一年から三年
生の生徒二十九人と先生二
人で、現在校舎はかなり古

く老朽化して、ユネスコ
や政府からトタンなど資
材の供給をうけ補修して
います。
トイレはありますが水
の問題が解決できず、又
机等の備品、教材、スポー
ツ用品も不足しています。
今回、ジャイチの学校
と統合になり、これから
はこの学校も徐々に良
くなるだろうと期待してい
ます。
(SMCC
ラム・クマル・バル)

当初は、生徒よりの授業
料はむろんのこと教材費も
無料とし、給食を提供する
ことにより、生活苦の中
の貴重な栄養源として、生
徒が学校に通うのが楽しみ
になり、毎年三十名ずつの
入学を受け入れました。
建設・運営に関しては、
日本全国の支援者の皆様の
ご寄附を中心に、一九九二
年より十二年に亘り国際ポ
ランテニア貯金の配当金を、
また一九九七年より国際建
設技術協会より三年間助成
を受けました。敷地が傾斜
地のため毎年教室を一枚ず
つ順次建設いたしました。
二〇〇〇年には電気の引
き込み工事を寄附(特定事

生までのクラスを支援して
います。このような移管プ
ロセスは昨年の六月まで続
けてきましたが、公的なも
のではありませんでした。
バシファント学校の財産
を、公立学校であるレカリ
小学校に引き渡した後、昨

生までのクラスを支援して
います。このような移管プ
ロセスは昨年の六月まで続
けてきましたが、公的なも
のではありませんでした。
バシファント学校の財産
を、公立学校であるレカリ
小学校に引き渡した後、昨

生までのクラスを支援して
います。このような移管プ
ロセスは昨年の六月まで続
けてきましたが、公的なも
のではありませんでした。
バシファント学校の財産
を、公立学校であるレカリ
小学校に引き渡した後、昨

生までのクラスを支援して
います。このような移管プ
ロセスは昨年の六月まで続
けてきましたが、公的なも
のではありませんでした。
バシファント学校の財産
を、公立学校であるレカリ
小学校に引き渡した後、昨

▲2008年7月13日レカリ小学校とバシファント学校の統合調印式
July 13/2008, The signing Ceremony of Unification of Lekali Primary School and Basiphant School.

生までのクラスを支援して
います。このような移管プ
ロセスは昨年の六月まで続
けてきましたが、公的なも
のではありませんでした。
バシファント学校の財産
を、公立学校であるレカリ
小学校に引き渡した後、昨

生までのクラスを支援して
います。このような移管プ
ロセスは昨年の六月まで続
けてきましたが、公的なも
のではありませんでした。
バシファント学校の財産
を、公立学校であるレカリ
小学校に引き渡した後、昨

生までのクラスを支援して
います。このような移管プ
ロセスは昨年の六月まで続
けてきましたが、公的なも
のではありませんでした。
バシファント学校の財産
を、公立学校であるレカリ
小学校に引き渡した後、昨

▲レカリ小学校の全景。1-3学年が在籍しているが生徒数が少ないためひとつの教室で授業を受けている。
A complete view of Lekali Primary School. Due to less in number, all the students from class 1 to 3 are studying in one classroom. The school house and facility looks timeworn but after this unification a gradual improvement is regarded.



▲あーすの会の皆さん。様々な国際支援の活動がされています。ジャイチは、バザーでの収益金の提供や文房具等の支援をしています。

All the members of Aa-su association. There are 30 members in this ladies organization who are continuing their international cooperation activity since 2002 A.D. To JAITI, they are donating stationeries and sponsoring the income generated from conducting bazars.

ネパールの子供達に

思いをはせて

あーすの会 会長 金澤 悦子

こんにちは。私達は長野県佐久市で活動をしているグループです。国際的な交流に興味を持ち、紛争や飢餓のない地球に成ることを願いながら、世界の子供達

へささやかな教育支援を続けています。会員は二十名、メンバーは皆、「気持ち青春」の女性達です。息の長いお手伝いを続けるため、「無理のない支援」を合い言葉に、現在アジア圏で三名の子供達と関わり、彼らの成長を見守っています。また、佐久市の国際交流フェスティバルでバザーを行い、その収益を、緊急に必要とされている地域、団体へと送っております。ジャイチさんと私共のお付合いは、メンバーの紹介により平成十四年より続いています。回覧のご縁と、子供達に目を向けたご支援に呼応し、また長期的な目的達成に向け地道なご活動を続けられる皆様のご優しさに同感致しました。

うお話。これならお手伝いできる、と近隣の小学校や友人知人に声をかけ、集まった物品を武石の事務局にお届けし、細く頼りない支援の糸ではありますが、お付合い頂くようになりました。そして昨年十一月、前述のフェスティバルにジャイチスタッフをお迎えし、ネパール国及びジャイチ活動の紹介、ネパール物品の販売やサリーの着付け等の場を展開して頂き、広く市民の皆様にも喜んでいただくことができました。新しい一歩に乾杯です！

最後になりましたが、農業支援から入づくりまで、地域の自立を念頭にご支援を続けられる理事、スタッフの方々にご心よりエールを送らせて頂くと共に、今ネパールで学ぶ子供達がしっかりと学習を重ね、自らの国を自らの力で発展させていってくださる事を心より願います。結びとさせていただきます。
(長野県佐久市)

ネパール農業報告

(十一月)



▲12月のカカニ農場全景。中央5列に一昨年導入したウィルスフリーのイチゴ。きびしい気象条件だがよい生育である。その右アブラナ、隣は大麦の作付けがされている。
Kakani Farm as of December 2008. Newly disseminated strawberry plants (central 5 rows) are growing well in spite of severe weather condition. There is Mustard growing on the right and Barley around.

が多く華やいた雰囲気です。乾季の晴天のせいではなしに、いつまでもこうあってほしいと願っています。

◆ナムター村と近隣村

アブラナ科やさいのネコブ病対策で推進している他、料やさいではジャガイモ、ニンジン、インゲン類、スイートコーンなどは良くできます。

アブラナ科ですが青首大根、ブロッコリー、菜類なども好評です。いずれも面積が増加、定着の方向です。まだ検討の余地があるのはレタス、キュウリ、カイランなどです。ネコブ病については、ここ一二年で方

向が示せそうです。

今までネパールでは農業による病害防除は一般的ではありません。

ジャガイモ疫病、キュウリの病害など無農薬では難しい品目は農薬防除へ誘導を始めています。農家も防除の重要性を認識しています。

農薬も現地調達の見通しが立ちました。防除機は背負い式や肩掛け式の手動のものしかありませんが、丁寧に散布すればよいと考えています。

カカニ地区では最盛時六十戸ほどの農家がイチゴを栽培していましたがヒマラヤ向きの北面傾斜畑が多く、ほとんど消滅しました。

◆カカニ地区と近隣村

以前から栽培が広がっていたカカニ峠南側のチトレ村、クレ村方面のイチゴは昨年信じがたいほど増加しました。カカニ峠より標高が百メートル以上低く、南面傾斜の日当りの良い畑はほとんどイチゴといつてよい状態です。

北面傾斜地には一切なく、日本でもビニールが出現する前、静岡県の石垣イチゴは南面傾斜の日当たりの良い場所だった事を思い出しました。「適地適作」「産地は移動する」を実感しました。複雑な山岳地形で高山の登山感覚の地帯のため全体の把握は出来ませんでした。五ヘクタールぐらいはあると思われまふ。全体を調査すればもっと多いかもしれまふ。



▲チトレ村のイチゴ。きびしい地形だが生育はよい。技術的にはまだ改善する点が多い。

The Chitre village to the south of Kakani Pass is suitable area for strawberry farming. The area is topographically severe but the plants look quite healthy. In the point of view of growing technique, there are still many things to improve

る前、静岡県の石垣イチゴは南面傾斜の日当たりの良い場所だった事を思い出しました。「適地適作」「産地は移動する」を実感しました。

複雑な山岳地形で高山の登山感覚の地帯のため全体の把握は出来ませんでした。五ヘクタールぐらいはあると思われまふ。全体を調査すればもっと多いかもしれまふ。

新産地は栽培経験が浅く、技術も未熟で指導の重要性を感じています。これから課題です。このニュースレターが皆様のお手元に届く頃に現地指導会を計画しています。

前号に書きましたが、昨年の六月、地方展開の候補地としてムスタン郡の調査を行いました。その折、日本のそばと青首大根系大根の種子を持参、試作依頼をしました。その後ジャイチ、

◆ムスタン郡の状況

前号に書きましたが、昨年の六月、地方展開の候補地としてムスタン郡の調査を行いました。その折、日本のそばと青首大根系大根の種子を持参、試作依頼をしました。その後ジャイチ、

ネパールのスタッフのK.C.さんが調査を継続しており、その報告です。

ムスタン郡のそばは標高二五〇〇m以上の栽培で長野県の高冷地産のそば(露下そば)といわれ信州そばの名品感覚のようで、ネパールでも味が良く評価が高く、面積も多く重要品とのことです。

日本のそばは現地のそばより早生のようで、収穫時期が一ヶ月早く収穫努力の分散が出来好評だそうです。

青首系大根については、今まで作っている美濃早生系大根より①軟らかく甘くおいしい②大きくなる③抽苔開花株が全くない、と大好評と報告を受けました。

そばも大根も私が持ち込んだ品種を導入したいとの強い希望のようです。他のやさいも含め栽培指導に取り組みたいです。

り組んでほしいとの要望だそうです。

マルファ村とツクチェ村がムスタン郡の中心地で、栽培指導の要望があるようです。日本で四十年ぐらい前まで盛んに作られたデリシヤス系品種が多く作られているようです。

日本が世界に誇る品種「ふじ」も導入されたが、高標高のため着色せず無理とのことです。

前号にボカラからムスタン郡方面への道路開通のことを書きましたが、険しい山岳地形につけた道路のため、土砂崩落で不通になったままのようです。

ムスタン郡には消費人口が少なく、ボカラへの搬出が重要でリンゴを含むすべての農産物の安定輸送が最大の課題のようです。

(農業指導員 土屋興彦)



▲標高2700mのリンゴ栽培。たぶん世界最高標高でのリンゴであろう。後方の山は、ニルギリ山(7061m)

The apple field at the altitude of 2,700 m of Mustang, Nilgiri Himal (7,061m) on the back. The quality of buckwheat grown in this high altitude (cold area) is very good. It can be expected that lots of agro-products be transported after opening of motor-able road to Pokhara

事務局だより

▼ジャイチ

- 7月
- ・▼ジャイチ
 - ・機関紙35号を発送(約1400通)
 - ・27日理事会開催(長野土地一部売却について)
 - ・公益法人説明会出席
 - ・信田理美中学校生徒会に島田常務理事がジャイチの紹介
- 8月
- ・島田常務理事が総合指導でネパールへ出張
- 9月
- ・国際交流フェスティバルin信越実行委員会に出席
 - ・国際農林業協働協会に20年度専門家派遣事業申請書を提出
- 10月
- ・グローバルフェスタ参加(東京都)
 - ・国際交流フェスティバルin丸子に参加(長野県)
 - ・国際農林業協働協会の20年度専門家派遣事業決定
 - ・農業指導のため土屋農業指導員をネパールに派遣
- 11月
- ・JICA・NGO協議会に登録
 - ・国際交流フェスティバルin信越に参加(長野県)
- 12月
- ・島田常務理事が総合指導でネパールへ出張
 - ・理事会開催(評議員選出について)
 - ・機関紙35号企画・編集

バザーをありがとうございました。

・グローバルフェスタ(目黒区公園)

・国際交流フェスティバルin丸子(長野県上田市)

・ふるりの会(長野県佐久市)

・国際交流フェスティバルin信越(長野県佐久市)

▼ジャイチネパール▼

- 7月
- ・13日バシファント学校と地元のカカニ小学校との合併式を行い、政府の教育者メソラビー大使も出席される。
 - ・レカリー・バシファント学校の移管手続きを、すべて終了しました。
 - ・レカリー・バシファント学校、カカニ・プライター学校 定評試験を行い、その後、夏休みに入る。
 - ・レカリー・バシファント学校のSMCCの役員がインド大使館を通じてインド政府にスクールパスの申請を申請。
- 8月
- ・レカリー・バシファント学校のSMCCが申請したスクールパスがインド大使館より受理され、直ちに登録、発行に入る。
 - ・カカニ・プライター学校の留守作業、ほぼ終了
 - ・日本より総合指導員島田常務理事、8月下旬～9月上旬、未訪。
- 9月
- ・レカリー・バシファント学校のSMCC総会に向け、ミーティングが行われる。
 - ・カカニ・プライター学校で資料機軸が行われ、親たちを含め450名が受講した。
 - ・ジャイチネパールの決算が終了した。
- 10月
- ・レカリー・バシファント学校、カカニ・プライター学校 文化祭。その後デザイン、ティハール休みにはいる。
 - ・日本より農業指導のため土屋農業指導員が10月下旬～11月上旬の間指導にはいる。
- 11月
- ・旧レカリーと旧バシファント学校の教員の移動
 - ・レカリー・バシファント学校の修繕作業
 - ・カカニ・プライター学校で地割調整。
- 12月
- ・日本より総合指導員島田常務理事、未訪。
 - ・レカリー・バシファント学校のSMCC総会に伴う役員選挙を実施する。

里親だより
「バシファント10年生」

山田まゆみ

私は、一九九一年に初めて友人とネパールを訪れました。その帰路K氏とお会いした事から、ネパールともジャイチとも長い付き合いありとなりました。

今回、私なりの支援の仕上げという意味あいもあり、バシファント学校の10年生の里親となりました。最初の学校の基礎造りの時から何度か訪れていますが、その度に立派な建物が増え、道路も整備されるのを見てきました。今や学校の名前も組織も変わって、初めの頃とは雲泥の差です。当然子供達の意識も変化し、

先日届いた手紙からは、彼らの自信と誇りが感じられました。素晴らしい事です。ジャイチの長年の支援の成果でしょう。ただ、少し違和感もありました。私としては、最初のネパール旅行で感動した子供達の間でも続いて欲しいと思っています。

(東京都練馬区)



▲山田まゆみさんが里親の10年生。SLCの試験に向けて校内に宿直して勉強中の生徒がいます。

10 grade students, financially supported by foster parent Mrs. Yamada Mayumi. Studying hard for the preparation of SLC examination. The awareness of the students though started commuting the school from its construction stage is highly changed by now. We can feel their confidence and pride in their letters.

第九期 評議員

任期は平成二十一年一月一日
二十二年十二月三十一日

井出 守雄	長野県上田市 (再選)
小山田 秀士	長野県上田市 (再選)
小林 弘	神奈川県大和市 (再選)
小林 裕	神奈川県横浜市 (再選)
土屋 興重	長野県佐久市 (再選)
春木 宏介	東京都国分寺市 (再選)
小林 一郎	長野県上田市 (新任)
森田 繁良	長野県長和町 (新任)

お知らせ

「JAITERネパール」
農場と学校訪問の旅

募集予告

ジャイチツアーを再開します。燃油特別付加運賃が変動するため変更になることがあります。

お願い

- ・ネパールへの荷物運搬
- ・ネパールへ渡られる時ジャイチの荷物(主に文房具・カバンなど)を運んで下さい。
- ・物品のご寄付
- ・肩掛けカバン用布

(布地が丈夫な物)

・古切手・書き損じ
ハガキを収集しています。切手の回りに五ミリの余白を残して切り取り、ジャイチ事務局までお送りください。寄付者欄にお名前を掲載させていただきます。

物故者のお知らせ

支援者の方で、当方で把握している物故者を掲載いたします。ご冥福をお祈り致しますと共に、今までのご支援に対し感謝致します。関係者様

平成二十年十二月(柳木恵)



訂正とお詫び

前号の一面の写真説明でウツタム・タバくんはダワ・シニルバくんの間違いです。お詫び致します。

編集後記

ダレンさんらの尽力によりバシファント学校が公立学校になった。前列のないことなどという。ジャイチとしてひとつのハードルを越えたような気がする。

この学校にはジャイチ創設時からの支援者の思いが本当にたくさんつまっている。建物だけではなく衛生教育をはじめ多くのソフトも入っている。教育大臣も何度か足を運んでくださったようなので、ジャイチの姿勢を理解して下さったであろうか。ネパールの教育界の底上げにつながることを期待する。

(暁)